

2018年度 第1四半期決算概要

2018年8月7日
デンカ株式会社

1.業績の概要

【総括(前年同期比)】

- ・当期第1四半期は、ヘルスケア分野などで将来に向けた先行投資による費用負担が増加しましたが、原材料価格の上昇に応じた販売価格の改定により交易条件が改善したことや、電子・先端プロダクツ製品を中心に販売数量が増加したことなどにより、営業利益は前年に比べ5億円増益の69億円(前年比7.8%増)となりました。そして、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は、第1四半期連結累計期間の過去最高益を更新し、経常利益は80億円(前年比8.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は62億円(前年比3.1%増)となりました。
- ・第2四半期以降も、電子・先端製品の好調な出荷が継続する見通しであり、スチレンモノマープラントの定修負担があるものの、上期は営業利益140億円、下期はインフルエンザワクチンや診断キットの収益寄与により同220億円と、通期予想営業利益360億円達成により、2期連続最高益更新を目指します。

【セグメント別状況(前年同期比)】

- ・クロプレングムは、米国子会社デンカパフォーマンスエラストマー社が寒波の影響で減産になるなど販売数量は減少したものの、販売価格の改定が進み、また、ABS樹脂やデンカシンガポール社のポリスチレン樹脂、MS樹脂の販売も好調に推移したことなどから、増益となりました。第2四半期は、スチレンモノマープラントの定修影響などから、営業利益は減少する見通しです。
- ・インフラ・ソーシャルソリューションは、農業・土木用途向けのコルゲート管や耐火物鉄鋼用材料の販売数量が増加、セメントや特殊混和材の販売も堅調に推移しましたが、肥料の販売は前年を下回り、また原燃料価格の上昇もあり、減益となりました。第2四半期以降は、特殊混和材などの堅調な販売が続くとともに、価格は正を進めることで増益を見込みます。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、電子回路基板、高信頼性放熱プレート“アルシンク”および高純度導電性カーボンブラックの販売数量が増加し、電子部品・半導体搬送用部材の機能フィルムや半導体封止材向け球状溶融シリカファイバー、球状アルミナの販売も好調に推移しましたが、LED用サイアロン蛍光体“アロンブライト”の販売は前年を下回り、また増産体制に伴う労務費他固定費増加で利益は前年並みとなりました。第2四半期以降は、球状アルミナその他の伸長により、増益の見通しです。
- ・生活環境プロダクツ部門は、工業用テープの販売数量が増加し、食品包材用シートやデンカポリマー株式会社の加工品の販売も堅調に推移しました。また、合繊かつら用原糸“トヨカロン”の販売は概ね前年同期並となりましたが、耐候性フッ素系アロイフィルム“DXフィルム”の出荷が前年を下回ったことに加えて、原材料価格の上昇などもあり、減益となりました。第2四半期も、同フィルムの販売減少の影響などから、前年比減益となる見通しです。
- ・ライフイノベーション部門は、デンカ生研株式会社の試薬の販売は国内、輸出とも前年を上回りましたが、研究費等先行投資の負担増により減益となりました。第2四半期以降は、インフルエンザワクチンや診断キットの収益寄与があることから、期初予想通りの利益となる見通しです。

【業績】

(単位:億円)

	2018年度 第1四半期実績 (4-6月)	2017年度 第1四半期実績 (4-6月)	増減
売上高	940	906	34
営業利益	69	64	5
経常利益	80	74	6
親会社株主に帰属する当期純利益	62	60	2

	2018年度 第2四半期予想 (4-9月)	2018年度 通期予想 (4-3月)
売上高	1,950	4,100
営業利益	140	360
経常利益	130	340
親会社株主に帰属する当期純利益	100	250

2.セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

	2018年度 第1四半期実績	2017年度 第1四半期実績	増減
エラストマー・機能樹脂	426	407	19
	営業利益	28	16
インフラ・ソーシャルソリューション	122	124	△2
	営業利益	3	△5
電子・先端プロダクツ	156	147	8
	営業利益	28	△1
生活・環境プロダクツ	97	103	△5
	営業利益	4	△3
ライフイノベーション	48	46	1
	営業利益	△0	△2
その他	92	80	12
消去差	2	2	1
合計	940	906	34
	営業利益	64	5

	2018年度 第2四半期予想	2018年度 通期予想
エラストマー・機能樹脂	885	1,785
	60	130
インフラ・ソーシャルソリューション	275	555
	10	20
電子・先端プロダクツ	335	685
	55	125
生活・環境プロダクツ	205	415
	5	15
ライフイノベーション	120	345
	5	60
その他	130	315
消去差	5	10
合計	1,950	4,100
	140	360

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

		2018年度 第1四半期実績	2017年度 第1四半期実績	増 減	2018年度 第2四半期予想	2018年度 通期予想
投 資	設備投資	56	47	9	150	310
	M & A 他	1	0	1	未定	未定
	計	57	47	10	150	310
減価償却費		57	61	△ 4	115	235
研究開発費		39	34	5	75	150
有利子負債残高		1,131	1,149	△ 18	1,120	1,080

	2018年度 第1四半期実績	2017年度 第1四半期実績
為替レート [円/\$]	108.1	111.8
国産ナフサ [円/kl]	49,000	39,700

4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	2018年度 第1四半期実績	2017年度 第1四半期実績	増 減	販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	426	407	19	35	△ 16
インフラ・ソーシャルソリューション	122	124	△ 2	2	△ 4
電子・先端プロダクツ	156	147	8	△ 3	11
生活・環境プロダクツ	97	103	△ 5	△ 1	△ 4
ライフイノベーション	48	46	1	△ 2	3
そ の 他	92	80	12	-	12
合 計	940	906	34	32	2

5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	2018年度 第1四半期実績	2017年度 第1四半期実績	増 減	販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	44	28	16	35	△ 5	△ 14
インフラ・ソーシャルソリューション	△ 2	3	△ 5	2	△ 1	△ 6
電子・先端プロダクツ	27	28	△ 1	△ 3	5	△ 3
生活・環境プロダクツ	1	4	△ 3	△ 1	△ 1	△ 1
ライフイノベーション	△ 2	△ 0	△ 2	△ 2	2	△ 2
その他、消去差	2	2	1	-	△ 0	1
合 計	69	64	5	32	△ 0	△ 26